

国際会議開催に係る CO₂排出量測定ツール制作業務委託
事業者選定（プロポーザル方式）実施要領

1 目的

近年、国際会議開催にあたって SDGs への貢献が求められることを受け、国際会議主催者による CO₂排出削減等の取組を促す CO₂排出量測定ツールを開発し、誘致・開催時に活用することにより、持続可能な国際会議開催都市としての競争力を強化する。

についてはプロポーザル方式で委託事業者を募集し、最も優れた企画を提案した委託事業者を選定する。

2 委託内容

仕様書のとおりとする。

3 事業提案上限額

8,900,000 円（税込）

4 契約の履行期限

令和4年5月25日から令和5年3月31日まで

5 選考について

選考については以下の手順及び日程で行う。 ※以下全て日本時間による。

※（7）を除き、全てビジネスチャンスナビ（以下「BCN」という。）を通じて行う。

（1）公募開始及び希望申出受付開始

令和4年4月21日（木）

※希望申出方法については、公益財団法人東京観光財団（以下「財団」という。）のホームページ「契約情報」参照

↓

（2）公募締切

令和4年4月27日（水）正午

↓

（3）企画審査会への指名通知

令和4年4月28日（木）

↓

（4）実施要領及び仕様書に関する質問の受付期間

令和4年4月28日(木)~令和4年5月9日(月)正午

↓

(5) 実施要領及び仕様書に関する質問への回答

令和4年5月12日(木)(予定)

↓

(6) 企画提案書及び見積書等の提出期限 ※データはBCNを通じて提出のこと。

令和4年5月17日(火)正午(必着)

↓

(7) 企画審査会実施日

令和4年5月23日(月)企画審査会

↓

(8) 審査結果の通知

令和4年5月24日(火)審査結果通知

6 企画審査会に必要な提出物と提出方法

※下記に示すものを、データでBCNを通じて提出すること。

全ての提出物について、提案者が特定できる事項を記載しないこと。

(1) 提出物

ア 企画提案書

企画提案書の書式はA4版横とし、30枚以内とする。

「(2) ア 提出部数」に指定のあるものを除き、自社名及びロゴマーク等は一切記入しないこと。

また、以下の項目に従い作成すること。

- ① 国際会議開催時CO₂排出量に関するベンチマーク調査における、調査候補都市とその選定理由。また、開発にあたり参考とすべきグローバルな基準や国の取組等があれば、提案すること。
- ② 国際会議開催時に活用可能なCO₂排出量測定ツール開発にあたっての検証・監修の方法(専門家氏名及び実績を含む)
- ③ CO₂排出量測定ツールの構成項目・デザイン案
- ④ 準備から納品までの制作スケジュール案
- ⑤ 実施体制(責任者・担当者の氏名及び実績を明記した体制図を含む)
- ⑥ これまでの類似活動実績

イ 見積書

仕様書の項目別の内訳及び見積総額を日本語で記載すること。見積総額は委託業務に係る経費等を全て含み、消費税等の諸税を含んだ金額とすること。また、税抜額及び消費税を明記すること。

見積書(データ)とは別に、見積金額(税抜)をBCNに期限までに所定欄に入力

のこと。

ウ その他（任意）

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が運用する ISMS 適合性評価制度における ISO/IEC27001 と同程度の認証、または一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）の認定するプライバシーマークと同程度の認証書類。（取得済の場合）

（2）印刷物の提出部数と提出方法

ア 提出部数

以下に記載のとおり、自社名及びロゴマーク等のあるデータとないデータをそれぞれ用意して、提出すること。再委託先、協力先がグループ会社以外の場合は、社名の「あり・なし」の指定に関わらず、全ての提案書に明記すること。

提出物	社名及びロゴ	提出部数
① 企画提案書	あり	PDF データ各 1 部を BCN を通じて提出
	なし	
② 見積書	あり(押印)	
	なし	

イ 提出期限

令和 4 年 5 月 17 日（火）正午

（3）注意事項

- ア 提出期限までに提出物が届かない場合、また BCN でのデータ提出がない場合は、企画審査会への参加を辞退したものとみなす。
- イ 提出物などに不備、不足などがあった場合は失格となる場合がある。

7 選考方法

財団が別途定める「国際会議開催に係る CO₂ 排出量測定ツール制作業務委託事業者選定企画審査会実施要領」の審査方法及び審査表に基づき企画審査会及び選考を行う。評価基準については、以下のとおりとする。

（1）企画提案内容

- ア ベンチマーク調査における調査対象都市等の提案は、目的を達成するのに適切か。
- イ 測定ツール開発にあたっての検証・監修の方法及び専門家の実績や業界経験は適切かつ十分か。
- ウ CO₂ 排出量測定ツールの構成項目・デザイン案は、あらゆる国際会議主催者に使いやすいものが提案されているか。

（2）体制及び類似実績

- ア 仕様書の業務を適正かつ効果的に履行できる体制・人員配置になっているか。
- イ 実行可能な業務進行スケジュールが具体的に明示されているか。
- ウ 類似業務の実績件数並びに内容は適切か。

(3) その他

- ア 単価及び総額は実施内容に対して妥当であるか。
- イ 一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が運用する ISMS 適合性評価制度における ISO/IEC27001 と同程度の認証、または一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）の認定するプライバシーマークと同程度の認証を取得しているか。

8 企画審査会について

(1) 実施日 令和4年5月23日（月）（予定）

(2) 実施方法 応募者（1社3名以内）のプレゼンテーションをオンラインにて実施する。

ア 1社あたりプレゼンテーション10分・質疑応答10分程度を予定。

イ 開始時刻等詳細については別途事務局よりメールで通知する。

ウ Teams、Zoom等のビデオ通話等を利用した審査となる可能性があるため、以下の条件を整えること。

① 応募者側に必要な機器・条件等

PC（またはタブレット）、ビデオ通話が問題なく行えるネット環境、ウェブカム（またはカメラ）、ヘッドセット（または集音器とスピーカー）

② 設定・接続について

Teams、Zoom等、事前に以下を参照の上、当方の指定するリンクから接続できる環境を整えること。

(参考) Teams: <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-teams/>

Zoom: <https://www.zoom.us/>

③ 接続確認

別途財団より連絡する日時にて接続確認を行うこと。

(3) 各社の開始時刻

別途通知する。各社とも開始時刻の10分前に待機すること。

(4) 使用言語について

- ・プレゼンテーションは企画提案書の内容に基づき日本語で行うものとする。
- ・担当者が英語で説明を行う場合には、日本語で通訳可能な者が必ず同席すること。

9 選考結果の通知について

全ての応募者に対し、選考結果についてはBCNを通じ通知する（決定した受託者名とその見積額含む）。なお、審査内容に関わる質問については一切受け付けない。

10 質問等

- (1) 仕様書及び委託事業者選定に関する質問については、質問受付期間中 BCN を通じ受け付ける。
- (2) 質問内容については、全て財団事務局で取りまとめた上で、指名通知を受けた全ての事業者に対し BCN を通じ一斉に回答する。

1 1 その他

- (1) 企画提案応募に係る費用については、全て応募者の負担とする。
- (2) 応募書類等に関しては一切返却しない。
- (3) 応募を辞退する場合は、提出物の提出期限前日までに BCN にて辞退の手続きを行うこと。
- (4) 応募者が仕様書に定めのない事項について提案し、その企画が採用された場合、応募者は当該企画を提出した見積の範囲内で実施することとし、またその実施内容を別途特記仕様書に定めるものとする。

1 2 本件の問い合わせ先

公益財団法人東京観光財団 コンベンション事業部（担当：山本、鈴木（里））

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 346 番地 6 日新ビル 6 階

電話：03-5579-2684

FAX：03-5579-2685